

農業用ダムの貯水状況調査 【大分県集計】

(令和2年10月1日 12:00 現在)

農村基盤整備課 水利整備班

都道府県名	管内	水系名	ダム名	有効貯水量 (千m3)	受益面積(ha)		管理者名	現貯水量 (千m3)	貯水率 (%)	前回調査との比較		平年(H22-R1)との比較		備考
					うち水田	9月15日時点 貯水率(%)				9月15日時点 との増減(%)	平年同時期 貯水率(%)	平年比(%)		
大分県	中部	大野川	石場ダム	2,154	948.0		野津土地改良区	2,019	93.7	88.6	5.2	91.1	102.9	
	上流	大野川	大谷ダム	1,500	555.0	555.0	荻柏原土地改良区	820	100.0	100.0	0.0	93.9	106.5	
		大野川	大蘇ダム	3,890	1,865.0	767.0	大野川上流地域維持管理協議会	3,090	79.4	76.6	2.8	—	—	令和2年4月1日調査開始
	大野	大野川	師田原ダム	2,912	1,160.0	284.0	大野町土地改良区	2,002	68.8	65.3	3.5	75.3	91.3	
	北部	桂川	並石ダム	1,429	670.0	255.0	並石土地改良区	1,335	93.4	84.7	8.7	91.1	102.6	
		駅館川	日出生ダム	7,160	3,917.0	3,211.0	駅館川土地改良区連合	4,193	58.6	49.5	9.1	55.4	105.7	
		駅館川	日指ダム	4,510	2,919.2	2,919.2	駅館川土地改良区連合	3,469	76.9	72.4	4.6	75.3	102.1	
		駅館川	香下ダム	2,020	363.6	363.6	駅館川土地改良区連合	1,588	78.6	90.0	△ 11.4	69.9	112.4	
	合計		8	32,601	16,624.1	11,773.1								

※平年貯水量はH22年度～令和元年度の貯水量より算出、国報告は過去蓄積データ(ダムごと)全てより算出しているため、平年値は異なる。
 ※大谷ダムは堆積量が680千m3程度あるため、貯水率については、堆砂量を考慮し、農業用水として利用可能な820千m3に対して算定している。

水利貯水量

大分県	北部	山国川	耶馬溪ダム	9,800			国土交通省	9,259	94.5	87.0	7.4	88.3	107.0	有効貯水量は21,000千m3
-----	----	-----	-------	-------	--	--	-------	-------	------	------	-----	------	-------	-----------------

※平年貯水量は平成22年度～令和元年度の貯水量より算出。